

QBO 負担と面倒を軽減するDB検索法 ～携帯から手軽に地図関連情報DBからサーチ～

教授 Subhash Bhalla



[概要]

○QBOとは、

データベースの新しい検索方法であり、「オブジェクト単位で検索」や「検索の結果に対してさらに検索指定」ができるため、「認知負担の減少」や「小サイズの端末による表示向け」などの特徴を持っており、特に地図DB関連情報のサーチに役に立つ。

○Web と普通のDBの問題点

大抵のアプリケーション(例えば銀行)は、ATMやオフィスなどのサービス場所の位置を示す地図情報を開示している。

しかし、ユーザが現在位置から最も近いサービス場所を探したい場合、多くの銀行が1つのATMを共有すると、情報検索ニーズはより煩雑となり、最も近くにあるATMを探し出すのに一つ一つの銀行のホームページを閲覧するなど、ユーザの負担が大きい。

また、SQL等のDB検索言語に、ユーザに検索のターゲットに関する知識やSQLの文法を知っておく必要がある。

○SQLと同等なものを簡単にサーチ

ユーザは「国道49号線にあるATMを設置した郵便局や銀行を見つけないか」のように、身近に認知できる複数のオブジェクトの関係に関し検索のターゲットを絞っていくことが望ましい。

[実用化の可能性]

○製品のイメージ

Query by Object方式は、データベースの便利な検索のためのコアテクノロジーである。検索入力をSQL文法に変換するソフトウェアとしてDB管理システムの一部になる。

○Query by Objectの応用

- ・ 航空機予約システム
- ・ 旅行代理店の情報システム
- ・ 銀行の顧客システム
- ・ GPSを利用したカーナビなど

○特徴

- ・ 認知負担の減少
- ・ 小サイズの端末による表示向け

[UBICからのメッセージ]

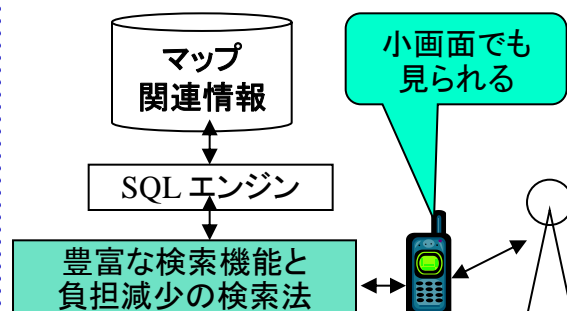
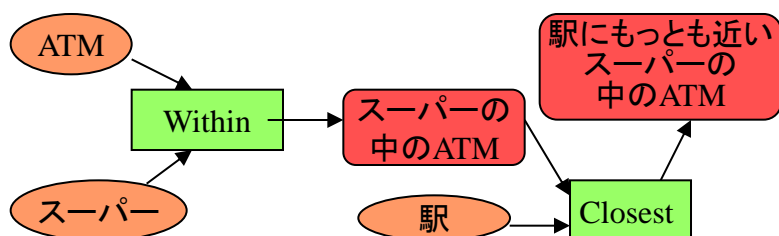
○インターネット検索ではなかなか核心に迫ることが出来ない場合が多くみられます。

○本研究では、斬新的なデータベースの検索方式を開発することで、ユーザの検索ターゲットに対する要求をステップバイステップで引き出し、ユーザの認知負担の軽減と高機能と便利さを兼ねる方式を開発するものです。

○すでにプロトタイプができており、本実験でシステムの正確性と使用性がさらに確認できれば、携帯電話を利用するデータベースの検索などに関連するアプリケーションのコアになりうる技術で、非常に市場が大きいと考えられます。

○すでに一部の携帯電話用のソフト会社に注目され始めており、研究の進展が期待されております。

[研究概要図]



携帯電話で豊富なデータベースの検索機能を巧みに利用